

釣り台付き遊歩道(脇田海釣り桟橋)指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成30年10月12日(金) 15:00~16:30
- 2 場 所 コムシティ地下1階 ユーステーションセミナールーム2
- 3 出席者 (検討会構成員) バート構成員、古川構成員、石川構成員、
小路構成員
(事務局) 産業経済局水産課長、漁政係長、担当職員

4 会議内容

- (1) 事務局の提案、構成員の互選により座長を選出(バート構成員)
- (2) 議事次第、選定基準、採点上の注意事項等について、事務局より説明

● 応募団体(ひびき灘漁業協同組合)から、提案概要に関して説明

○ 応募団体との質疑応答

(構成員) 管理運営計画について、利用促進を図るとしているが、具体的な目標としては利用者の増加を目指すということによいか。提出された計画上では各年利用者数は16,500人で横ばいとなっているが、利用人数を少しずつ増やすといった計画はあるか。

(応募団体) 自然相手の施設となるため、自然状況による施設を閉鎖することもあり、利用人数を増やすといった明確な目標は出せないのが現状である。平成13年から釣り桟橋の管理を行ってきたが、現釣り台は狭く、計画目標としている年間16,500人以上の釣り客が来ると、釣り人一人一人の釣り座確保が難しいと考えている。

(構成員) 設備的に現状の来場者が望ましいということか。

(応募団体) そう考えている。

(構成員) 他都市の類似施設では独自のホームページを立ち上げ、釣果情報を更新しているが、ホームページの立ち上げは考えているか。

(応募団体) 施設の立地上、光ファイバーが使えないためホームページ作成は遅れているが、今年度から光ファイバーが使用できるようになった。脇

田釣り棧橋のホームページを立ち上げ、釣果情報を更新していく予定としている。

(構 成 員) 今後ホームページを立ち上げて、情報発信を行うとのことだが、今まではどのように情報発信をしていたのか。

(応募団体) 親子連れの方に話しかけ、どこから来たのか等聞き取りを行い、子供会や自治会等の釣り大会の誘致を行っていた。過去には浅川地区、修多羅地区の自治会、障害者団体トトロの会、釣り団体の九州磯釣り連盟の釣り大会を誘致した。

(構 成 員) 市政だよりや釣り雑誌への掲載はしていないのか。

(応募団体) 私たちで企画・運営を行う釣り教室や釣り大会については、市政だよりによる広報を行っている。

(構 成 員) 北九州市のホームページ上に、1週間ごとの釣果情報を見ることができる。しかし探し出すのが難しいため、市民の方にもっとPRするために独自のホームページを立ち上げていただきたい。

(応募団体) ホームページは独自のものを作成し、いつでも釣果情報が見られるようにしたい。そうすれば自ずと利用者数は増加するとは考えている。

(構 成 員) 初心者向けの釣り教室だけでなく、高齢者向けの釣り教室の開催等新しい企画をしてはどうか。

(応募団体) 子供たちには、大人になっても釣りを楽しんでもらいたいと考えているので、今後も分かりやすい釣り教室の開催を企画していきたい。高齢者の方向けの釣り教室については、安全対策が十分にいきわたる少人数からスタートする形で検討していきたい。

(構 成 員) 計画書では、利用者を増加させる等はなく、私のイメージではリピーターの人が多い施設と思っている。初心者の割合はどれぐらいなのか。

(応募団体) 開業当初の平成13年頃は、女性の釣り客は少なかった。近年、女性の釣り客は増加し、親子連れ、家族の釣り客も増えている。新規の方が、リピーターとして来てもらえるのが管理者としての課題と思っている。

(構 成 員) 市の他の会議でも、女性の釣り人が増えているとの話も聞いているので、ホームページやSNSを活用して施設の宣伝をすれば、もっと利用者数は増加すると思う。

(応募団体) 女性だけの釣り大会の企画も検討していきたい。

(構成員) 先ほどの説明の中で、高齢者の安全について言われていたが、安全管理の上で一番心配していることは何か。

(応募団体) 釣り台と歩道の境が一段低くなっており、転落事故が起きないかと心配している。

(構成員) 過去に落水した人はいるのか。

(応募団体) 開業当初から落水した人はいないが、万が一に備えて救命胴衣の準備や職員が巡回し、注意深く見回っている。

【質疑応答終了。応募団体退席】

○構成員講評

(構成員) 落水事故がないというのは素晴らしいことだと思う。安全第一で運営していることは評価できる。

(構成員) 職員の高齢化が心配ではあるが、若い人材を雇用したと言われていたので、イベントのアイデア等をその方に期待したい。

(構成員) 特に問題はないとは思いますが、もう少しチャレンジすることを期待する。PRや企画の面ではまだまだ改善できる点があると思う。

(構成員) 管理者として、釣りのことをよく知っている団体であるし、地元調整も地元団体であるため一番うまくいくと思う。

○意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。